

2016年2月1日発行

サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山：〒640-8157 和歌山市8番丁4・八番丁館3

発行責任者：
和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司

TEL：073-460-9298
FAX：073-425-1301

E-mail：saposen_w@ares.eonet.ne.jp

第
20
号

第65回「社会を明るくする運動」H27年12月25日・法務省和歌山合同庁舎4階

作文コンテスト入賞作品14点を表彰

和歌山市より1,206点の応募。内3点が「最優秀賞」「優秀賞」に選ばれる。



第65回「社会を明るくする運動」和歌山県推進委員会
作文コンテスト表彰式

沢山の応募に感謝、感謝、感謝！

受賞者の皆さま
おめでとうございます。

去る12月25日、法務省和歌山合同庁舎4階会議室において、社明作文コンテスト入賞者並びに学校賞に選ばれた小・中学校の代表者を招き表彰式典が挙行されました。

今回のコンテストには、県下の小中学校より小学校107校・2,739点、中学校96校・5,350点、合計203校・8,089点と多くの応募がありました。また、応募総点数では、昨年より86点少なかったものの応募学校数では約20校も増加しました。

このことは、県下の各保護司会が

学校訪問等、学校とのためめ連携活動の成果ではなかろうか・・・。

子どもたちの作文を通して、地域住民が「社明運動」への理解をより一層深めていただき、協力の輪が大きく広がらんことを願う次第です。

【最優秀賞】小・中各1点

上好 悠芽 智辯学園和歌山小学校5年
(右)「社会を明るくするために」

田村 大樹 和歌山市立伏虎中学校3年
(左)「信じて見守る」



やったね！



▲小西県保護司会連合会会長賞を授与

【優秀賞】小・中各2点

- 寺澤 千尋 智辯学園和歌山小 5年
「勇気を出して行動しよう」
- 竹下 知歩 岩出市立根来小学校6年
「勇気をありがとう」
- 辻本 愛泉 県立古佐田丘中学校2年
「許しの心を持つこと」
- 山崎 翔大 田辺市立芳養中学校1年
「再出発の背中を押す勇気」

県更生保護協会理事長賞

田中 真由 有田市立箕島小5年生
「あいさつは第一歩」
森本 恭子 県立向陽中学校2年生
「地域の方と交流する」

県保護司会連合会会長賞

森田 光法 海南市立下津小6年生
「親切な人として
生きることの大切さ」
山本ふう子 近大附属新宮中3年生
「関わるということ」

県更生保護女性連盟会長賞

榎本 瀬里 町立九度山小学校6年生
「家族で決めた約束事」
鈴木 義幸 美浜町立松洋中2年生
「喜び、信頼への第一歩」

県BBS連盟会長賞

西田 雄哉 有田市立宮原小5年生
「命の大切さ」そして「感謝」
高橋 悠泉 和歌山県立向陽中3年生
「明るい社会を目指して」

【学校賞】 小・中各1校

小学校の部：由良町立衣奈小学校
中学校の部：印南町立稲原中学校

和歌山市内作文コンテスト応募状況

和歌山市立和佐小学校	52点	和歌山市立西浜中学校	1点
和歌山市立有功小学校	1点	信愛女子短期大学附属中学校	9点
和歌山市立太田小学校	1点	和歌山市立東和中学校	16点
智辯学園和歌山小学校	77点	和歌山市立紀伊中学校	1点
和歌山市立藤戸台小学校	3点	和歌山市立明和中学校	35点
和歌山市立岡崎小学校	2点	和歌山市立西和中学校	1点
和歌山市立湊小学校	1点	和歌山市立有功中学校	14点
和歌山市立新南小学校	1点	和歌山市立楠見中学校	217点
和歌山市立楠見東小学校	41点	智辯学園和歌山中学校	222点
和歌山市立宮小学校	1点	和歌山県立向陽中学校	147点
和歌山市立直川小学校	27点	和歌山市立城東中学校	2点
和歌山大学附属小学校	1点	和歌山市立高積中学校	278点
和歌山市立楠見小学校	1点	和歌山県立桐蔭中学校	50点
和歌山市立伏虎中学校	4点	合計	1,206点



◀ 文章を書くことの大切さを熱く語りかける水本審査委員長

第2回サポートセンター交流会記(和歌山・奈良) 中村咲子 記

奈良県保護司会連合会との交流会に晩秋の古都へ行って来ました。

昨年11月23日～24日、晩秋の古都奈良に於いて奈良県保連と和歌山県保連との2度目の研修及び交流会が行なわれました。今回は奈良県保連の企画で実施され、奈良より14名、和歌山より15名総勢29名が参加しました。

研修及び交流会には奈良保護観察所長も出席いただき、それぞれのサポートセンターの運営に関する問題点・悩みなど、また保護司会の地域的な問題点など、活発に意見交換がなされました。意見交換後の懇親会はすっかり打ち解け、大いに盛り上がり楽しい一時を共に過ごしました。

2日目は、奈良県連副会長の案内で東大寺と唐招提寺を参拝しました。東大寺では大仏建立のお話と普通では見ることの出来ない、大仏を手で触れる間

近な処から見せて頂くことができ大感激でした。

その後、東大寺本坊・上野 道善長老の法話を拝聴しました。法話は「六波羅蜜」(仏教の教えで六つの行いを実践することにより、よりよい生活を送ることが出来る。)のお話で、保護司活動にも役立つのではないかと得心しました。

千二百年前の奈良の都に思いを馳せ、歴史や文化に触れながら、楽しく実り多い研修・交流会でした。



平成27年度「各専門部会総会」開催模様

平成28年1月18日(月)・アバローム紀の国・16:00~17:10

平成28年1月18日、平成27年度の和歌山保護司会・各専門部会がアバローム紀の国において開催されました。参加者数は128名。例年とほぼ同じ人数でした。

午後16時、各専門部会が4つの会場に別れて

【総務部会】2階 ギャラリー 30名



総務部会長
野々村 邦夫

先ず、平成27年度の総務部担当の事業報告（役員会・部会も含め）を行った。

続いて、下記の項目等について意見交換を行った。
○人権フェスタの映画会について

国体の関係で人権フェスタが1日限りとなった関係で、映画上映も1回となった。タイトルは『夢のつづき』、入場者は172名。会場が分りにくいという声があったので、今回看板を増やしたり、チラシを配布したりして工夫をした。来年度も実施した方がいいと言う意見が多数あった。

小西会長から保護司の充足率は98%であるが、来年度以降仕事量も増えることが予想されるので、気を配って欲しい旨の発言があった。

【犯罪予防活動部会】4階 羽衣の間 33名



犯罪予防部会長
宮本 二

最初に、保護司の27年度の事業活動報告がなされた。7月1日の「社会を明るくする運動」についての特徴点は、①法務大臣メッセージが内閣総理大臣メッセージに変更されたこと。②参加団体全てのタスキを製作し、街頭啓発時に活用されたこと。また、社明作文コンテストについては、市内の小中学校から1,206名の応募があり、子どもたちの作文を通して社明運動の理解を深めた事をなどが報告された。

続いて、各支部の部長より「犯罪に戻らない、もどさない」を合い言葉に取り組んだ支部の活動報告がなされ、反省点や次年度の課題等を活かし、本年も、昨年同様の活動を展開することを確認した。

続いて、各支部の部長より「犯罪に戻らない、もどさない」を合い言葉に取り組んだ支部の活動報告がなされ、反省点や次年度の課題等を活かし、本年も、昨年同様の活動を展開することを確認した。

部会長の司会進行で開会されました。約1時間程であったが、27年度の各専門部会の事業推進状況や反省点、次年度への課題等について、熱心に話し合われました。

以下4部会の部会総会模様を報告いたします。

【研修部会】3階 孔雀の間(東)・35名



研修部会長
北野 愛子

研修部会の総会は39名の参加者のもと以下の三つの議題で話し合われました。

1. 27年度の自主研修・三者合同研修会・四支部合同の体験発表会の報告と反省。
2. 28年度の自主研修について、体験発表は東支部と西支部から1名ずつ選ぶこと。会場設営については北支部が担当との、前年度からの約束事を確認。また、三者合同研修での議題や講師については、各支部の意見を研修部長が集約し、後日、研修部会会議で検討協議し、決定することを確認しました。
3. 各支部の研修部会の取組みについては、研修部長より発表いただきました。

【協力組織部会】3階 孔雀の間(西) 30名



協力組織部会会長
温品 圭司

初めに部会長より平成27年度の事業報告があり、会議の開催と事業への参加報告がなされました。続いて、今回特別に保護観察所より就労支援担当の金山統括観察官に出席いただき、新設された「就労支援制度」の内容と、最近の就労状況等について説明をいただきました。

内容は非常に解り易く、参加者からは、利用手続き等具体的な質問や、居住設備費補助政策の働きかけ等の要望も出ました。

最後に、協力雇用主への表敬訪問活動の実施状況について各部会より報告いただき、雇用主様の悩みや心配事、雇用に対する雇用主様の熱い思い等を、共有することができる部会会議でした。

和歌山保護司会新年会 平成28年1月18日・アバローム紀の国

来賓と共に新年を寿ぎ 決意も新たに！

▼来賓あいさつをする伊藤観察所長

恒例となっている保護司会新年懇親会は、専門部会総会終了後の午後5時20分より、2階「鳳凰の間」で盛大に開催された。

来賓として、市長代理として荒竹副市長以下関係部署より幹部10名、観察所からは伊藤所長以下3名、和歌山市保護観察協会より土山会長、協力雇用主、BBS会、更生保護女会会長及び分会長ら28名の方々を迎え、総勢130名で新年を祝し、懇親を深めた。当初、尾花市長が出席されることとなっていたが、予算審議のためやむなく欠席された。

新年会は野々村総務部会長の巧みな司会で進行。小西会長のあいさつに続き、荒竹副市長・尾崎市議会議長、伊藤観察所長の来賓祝辞に続き、恒例となった畑口保護司による祝賀の舞。今年は「霊峰富士」の見事な舞に新年会の雰囲気がいやがうえにも盛り上がりを見せた。

土山保護観察協会会長の乾杯で、待ち遠しかった宴会の幕開けとなりあちこちのテーブルで、笑顔がはじけ、話に花が咲いた。

午後7時30分、奥田副会長の中締めで、2時間余の楽しい懇親会の幕締めとなった。



- ① にこやかに挨拶する小西会長
- ② 乾杯の発声・土山観察協会会長
- ③ 来賓挨拶：尾崎市議会議長(左) 荒竹副市長(右)



▲ヨッ 日本一！
祝賀の舞・畑口保護司



▲各テーブルで談笑の輪が……

今年も届けました 「愛の物資」

和歌山県更生保護
女性連盟

【愛の物資贈呈式】



▲県保護司会連盟も頂きました



▲贈呈式で挨拶する石谷会長と伊藤観察所長

県更生保護女性連盟は、昨年12月18日、和歌山保護観察所に於いて35回目となった「愛の物資」贈呈式を行いました。

式には県更女連盟の役員その他、各地区分会長らが出席。県下更女会員約2,800名が地域住民らに協力を呼びかけて集められたミカンや米・毛布・洗剤・タオル等、愛情のこもった沢山の物資を、更生保護関係施設や団体等に贈呈されました。

贈呈式の後、贈呈先の施設・団体よりお礼と現況等の報告があり、共通認識を高める良い機会ともなつたと思います。(編集部)